

大阪工大通信 およど

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

およどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<https://www.oit.ac.jp/oit/about/magazine.html>

OIT Website▶<https://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

およど No.299

2026年3月

CONTENTS

P2
卒業生に贈る言葉

P3~6
卒業生特集

P7
薬物講演会を実施 ほか

P8
ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの
推進に向けて ほか

誇りと自信を胸に

皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。学修や研究をはじめ、さまざまな活動を通じた経験を積み重ね、この日を迎えられることに深く敬意を表します。

皆さんの大阪工業大学生としての期間は有意義なものであったでしょうか。目標を達成できた人もいれば、なかなか思い通りにいかなかった人もおられるかもしれません。しかし、社会へ出るに際して何も心配することはありません。入学して以降、今日に至るまで、皆さんは経験したことのない、さまざまな事象に適応してきたはずです。その結果として、人間として必要な力が自然と身に付いているはずです。近年は、円安や物価の高騰といった私たちの日常生活に直接影響を及ぼすような状況が続き、日本を取り巻く世界の情勢も時々刻々と変化しています。学生生活を通じて得られた、自身の行動規範がぶれない心の強さと、臨機応変に物事を考える心のしなやかさをもって事にあたるよう心掛けてください。

社会へ出られた後も、皆さんは大小さまざまな困難に直面するでしょう。その際には、誇りと自信をもって対処することが重要ですが、同時に、他者の意見を聞いてみることも大切です。学生生活の中で築いてきたネットワークを活用し、先輩や同僚、お世話になった先生方に相談することも考えてみてください。

健康にはくれぐれも留意され、大阪工業大学の遺伝子を持つ皆さんがさらなる成長を遂げられますことを心より祈っています。

大阪工業大学 学長 井上 晋



卒業生に

贈る言葉



副学長(教育・研究改革、学生支援、産学連携担当) 芦高 恵美子

学びと挑戦の先にある未来へ

ご卒業・修了おめでとうございます。

“Practice makes perfect.”とは、不断の試行錯誤の積み重ねが人を確かな力へと導くという教えます。大学で皆さんが積み重ねてこられた学びと実践は、成功の経験のみならず、失敗や困難を乗り越えた経験をも含め、今後の人生を支える揺るぎない礎となっています。答えの定まらない課題に直面した時こそ、学び続け、挑戦し続けてください。今後のご活躍を心より祈念いたします。



学長補佐
佐野 睦夫

何が課題かを「問う力」に 磨きを!!

ご卒業・修了おめでとうございます。AIにより社会構造が大きく転換している現在、人間に求められる能力は何でしょうか? 私は、何が課題かを「問う力」、五感で「感じ取る力」、考え抜き様々な環境の中で意思決定を行う「決断する力」と思っています。その中でも、何が課題かを「問う力」は、ゼロから1を生み出す価値創造に直結し、最も重要です。異なる分野の人と多く連携し、感じ合い、新しい価値を生み出してください! 成功を祈っています!



学長補佐(大学改革担当)
森實 俊充

素晴らしい未来に 踏み出すあなたへ

ご卒業・修了おめでとうございます。

学生生活を振り返って思い出すのは良い思い出?それとも心残り?社会人になったあなたは、いつの日かこれらの学生時代を思い出すことがあるでしょう。社会では良いことや思いがけない困難が次々と訪れます。そういうとき、案外と学生生活の思い出や経験があなたの助けとなるときがあるかもしれません。ともあれ今日は一応の一区切り。新たな一歩を踏み出すときです。みなさんの未来での活躍を楽しみにしております。



工学部長(研究科長兼任)
上辻 靖智

高い目標に向かって、 チャレンジ!

ご卒業・修了おめでとうございます。

入学からあつという間だったかもしれませんが。高校までの生徒の立場から、大学で自ら考えて学ぶ学生になって、受験に縛られない自由な学修、専門的な装置を使った実験・実習、そして研究室活動、文化会や体育会の部活動、プロジェクト活動など充実した日々だったことでしょう。大学生活において戸惑いや苦労が多かったかも知れませんが、それらを乗り越え、卒業の日を立派に迎えられました。これまでに培われました専門知識、社会人基礎力、そして仲間はこの上ない宝物です。これらを糧とし、今後は更なる高い目標に向けてチャレンジを継続し、社会において飛躍し続けてください。皆さんのご活躍を楽しみにしております。



ロボティクス&デザイン工学部長
(研究科長兼任)

倉前 宏行

学びを力に、 未来を創る皆さんへ

ご卒業・修了、おめでとうございます。これまでの学生生活で身につけた専門知識と実践力を礎に、今後の社会の発展に大きく貢献されることを期待しています。変化の激しい実社会で活躍し続けるためには、課題に果敢に立ち向かう姿勢と、生涯にわたって学び続ける意欲が不可欠です。周囲の人々とのつながりを大切にしながら、充実した人生を築かれることを願っています。

皆さんの今後のご活躍とご健勝を祈念しています。



情報科学部長(研究科長兼任)
椎原 正次

これからの活躍を 期待しています

卒業生と修了生の皆さん、おめでとうございます。在学中の授業や研究、課外活動などを通じて成長した自分を実感されていることと思います。ぜひ、ご家族やこれまでご支援くださった方々に感謝の気持ちを伝えてください。

さて社会や企業では、AIをはじめとする情報技術の役割がますます高まっており、皆さんは期待されています。困難な時があるかもしれませんが、それでも身に付けた情報科学の知識、そして培った主体性と創造性が、きっと道を開いてくれると思います。自信をもって進んでください。皆さんの活躍を心より祈念しています。



知的財産学部長(研究科長兼任)
五丁 龍志

未完成という勇氣

ご卒業・修了おめでとうございます。私たちが携わる知財の世界では、実社会で使われない失敗発明もたくさんありますが、そのような失敗がきっかけとなり「本当に優れた発明」が生まれてくるのが常に起こっています。完璧な製品も、完璧な企画も、最初から存在しません。試作品は壊れ、実験は失敗し、それでも前に進む。失敗を恐れることなく進むのは、失敗作から改良し、ブレイクスルーを生むためです。社会に出れば、今まで経験したことがないような大きな失敗をすることもあるでしょう。でも、失敗を恐れず、むしろ失敗から学び、次の成功につなげてください。完璧主義は創造の敵。未完成でも動き出す勇氣こそが、皆さんの最強の武器になります。皆さんの今後の大活躍を心より祈念しております。

卒業生特集

ゼロから作ったジオラマが、鉄道業界への道をひらく

文化会



鉄道研究部
工学部
生命工学科

濱田 響生

就職内定先

西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)

が生まれにくいよう、実際の土木構造や街づくりを意識して設計したからです。完成までに要した時間は約半年で、城北祭前日まで作業しました。試行錯誤の末に完成したジオラマを来場者の方々が見てくださった瞬間、これまでの苦勞が報われた気がしました。

遠回りの末に見つけた本当に進みたい道

漫画の魅力にはまったことから出版社を中心に就職活動を始めました。しかし思うような結果が得られなかったため、改めて自分の原点を振り返り、昔から好きだった鉄道業界へ路線を変更しました。

面接では、Nゲージジオラマ製作のエピソードを中心に話しました。課外活動の中で課題を発見し、自ら環境を変え、最後までやり切ったプロセスを伝えたことで、自分なりの強みを表現できたと感じています。その結果、西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本) から内定をいただき、整備部門に配属予定となりました。今後は車両の整備に携わり、多くの人の「当たり前移動」を支える一員として働くこととなります。



自ら撮影したJR四国のキハ47形気動車。渾身の一枚。

ゼロから始まった巨大ジオラマへの挑戦

大学時代の一番の思い出は、城北祭に展示する巨大ジオラマ制作です。鉄道研究部の部長に就任した3年生の時、Nゲージジオラマ (9mm軌間のレール上で走行する縮尺1/148~1/160の鉄道模型) をゼロから作るという大きな目標を掲げました。歴代の鉄道研究部が製作してきたジオラマは存在していましたが、老朽化が進んでいたため「作り直すなら中途半端にはしない」と決め、逃げ道を残さないためにも、古いジオラマは思い切って処分しました。



学びを生かしたNゲージジオラマ

構想段階から予想以上に時間を費やすこととなりました。本学での学びを生かし、不自然な地形や構造物

“一人でやらない”をこれからの軸に

これまでの経験を通して、どこでどんな仕事をするにしても、人間関係の大切さを強く実感しています。仕事は決して一人では成り立たず、周囲との信頼関係の上に成果が積み重なっていくものだと思います。

これからは、自分の考えを押し通すのではなく、相手の立場や思いを尊重しながら、協働して課題解決にあたれる人間になることが目標です。ジオラマ製作で学んだ「やり切る力」と「周囲を巻き込む力」を胸に、社会人としても一歩ずつ成長していきたいです。

漕がなくても前へ -辞めないと決めて進んだ4年間-

体育会



漕艇部
工学部
都市デザイン工学科

足立 莉子

就職内定先

株式会社鴻池組

やりがいと葛藤

選手ではない立場で部活動を続ける中で、モチベーションの維持が難しいと感じることもありました。成果が数字や結果として見えにくいからです。そこで私は、しんどさの中に楽しさや成長を見つけることを意識するようになりました。早朝の乗艇練習では、ただ伴走するのではなく、選手一人ひとりの漕ぎ方の癖や上達の様子に目を向けました。こちらから積極的に関わり、会話を重ねることで、選手それぞれの個性や考え方も見えてきました。小さな変化に気づけた時や、信頼してもらえたと感じた瞬間に、マネージャーとしてのやりがいを実感しました。



活動中のコマ

悔しさを原動力に選んだ道

私が漕艇部に入部したのは、大学受験が不完全燃焼に終わったという悔しさがあったからです。このままでは終われない、大学生活で何かに本気で打ち込みたい。そんな思いから、練習の厳しい漕艇部に飛び込みました。選んだのは選手ではなく、マネージャーという立場です。自分が直接オールを握ることはありませんが、チームを支える役割として関わることに意味があると感じました。活動がどれほどハードでも、「辞める」という選択肢は最初から用意していませんでした。ここで逃げたら、自分に負けてしまうと思っていたからです。

一艇のボートが教えてくれた人と向き合う力

漕艇部は、育ってきた環境や価値観の異なる人たちが、一艇のボートに乗り込みゴールを目指す集団です。呼吸が少しでもずれると艇は思うように進みません。個々の力を発揮しながらも全員が1つの目標に向かって進んでいく難しさを、私は何度も痛感しました。意見の違いから仲間と衝突し、涙を流す場面もありました。しかし、その涙をぬぐうのもまた仲間でした。

ハードな部活動と学業を両立できたのは、スケジュール管理を徹底してきたからだと思います。漕艇部で培った計画力や周囲との調整力、最後までやり抜く力、そして苦しい中でも前向きな意味を見いだす力を生かし、これからは建設業界で多くの人を支える仕事に挑戦していきたいです。

学生連盟の仕事も担当

大学生活の4年間

モノラボプロジェクト



人力飛行機プロジェクト
工学部
都市デザイン工学科

野村 亮太

就職内定先
大阪府庁

鳥人間コンテスト

人力飛行機プロジェクト翼班長を務め、プロジェクトメンバーと大会出場を目指した経験です。書類作成では図面づくりを担当し、チームで協力して審査を通過しました。大会直前には予想外のトラブルもありましたが、みんなで役割を分担して対応し、無事に本番を迎えることができました。結果は7761.80m飛行、15チーム中5位となり、仲間とやり切った達成感が強く印象に残っています。



仲間と一緒にやりきる力

計画的に行動することと、周りとの協力することの大切さを学びました。目標から逆算して準備を進めることで、落ち着いて行動できることを実感しました。また、作業が止まったり意見がぶつかったりしたときも、話し合うことで解決できることを学びました。これからも周囲と協力しながら、最後まであきらめずにやり抜く姿勢を大切にしていきたいです。

社会人に向けて

私の夢は、大学で学んだ知識を生かして、大阪府の道路を安全で使いやすいものにする事です。古くなった道路を計画的に直しながら、安心して利用できる環境づくりに関わりたいと考えています。また、交差点の改善や歩きやすい道路づくりを通して、誰もが安全に通れる道路づくりに取り組みたいです。さらに、信号の見直しや混雑を減らす取組などにより、移動しやすいまちづくりにも貢献していきたいです。



一步一步歩んだ大学四年間

留学生



工学部
応用化学科

仇 茹穎

進学先
京都大学大学院
工学研究科 合成・生物化学専攻

仲間と過ごしたソフトボール大会

学校や研究室の仲間たちと一緒に参加したソフトボール大会が、大学生活の中でも特に印象に残っています。普段は勉強や研究で忙しい毎日でしたが、当日は学年や立場を越えて声を掛け合い、チームで一つになってプレーできました。勝敗以上に一体感を味わえた、貴重な思い出です。



忙しい研究生活の中の支え

研究や課題に追われ、思うように結果が出ず苦労することも多くありました。そんな時に支えになったのが研究室の仲間です。忙しい合間でも一緒に美味しいお店を探して食事に行き、何気ない会話で気持ちを切り替えられました。支え合える関係があったからこそ乗り越えられたと感じています。



研究を通じてさらに成長するために

この春から大学院に進学し、引き続き研究に取り組む予定です。大阪工業大学での勉強や研究を通して、自ら課題を見つけ、粘り強く考え続ける姿勢を身につけることができました。これからは、より高度な専門知識と研究力を磨きながら、社会に貢献できる研究者を目指して努力していきたいと考えています。

夢に向かって努力を重ねた4年間

梅田キャンパス



ロボティクス&デザイン工学部
空間デザイン学科

池田 創把

就職内定先
住友林業株式会社

仲間と共に成長し合った4年間

大学生活は設計課題に追われ、心身ともに限界を感じる日々の連続でした。それでも仲間たちと励まし合い、何度も議論を重ねながら必死に課題と向き合った時間は、かけがえのない思い出です。小学校設計課題で優秀賞をいただいたときには自分に自信がつき、コツコツと努力してきたことが報われた瞬間だと感じ、思わず涙がこぼれたことを今でも覚えています。



自分を信じてやり抜く

就職活動では、自分が「こじかない」と感じた企業一社に絞って挑戦しました。今振り返るとリスクのある選択だったと思いますが、それだけの熱意を持ち、自信をもって臨んだ結果、無事に内定をいただくことができました。これから就職活動をする皆さんには、自分のやりたいことや得意なことを丁寧に自己分析し、企業との相性を見極めることをおすすめします。自己理解が深まることで、面接でも自然体で自信をもって受け答えができると感じました。

様々な人の生活を描く仕事

これからは住宅設計士として、多くの人の幸せな暮らしを思い描きながら住宅の設計に携わりたいと考えています。家という最も安心できる場所をつくることは責任重大であると同時に、大きなやりがいでもあります。自分が設計した住宅で人々が思い出を重ねていくことを想像すると、今からとても楽しみです。また、自分自身が住む家を設計することが小さい頃からの夢なので経験を積んで魅力的な自宅を設計したいです。

自由な挑戦が成長につながる環境

枚方キャンパス



情報科学部
データサイエンス学科

大塚 武蔵

進学先
大阪工業大学大学院
情報科学研究科 博士前期課程

学びを支える制度と環境

大学では、各種制度や企画により様々な支援をいただきました。特に、奨学金制度や研究活動を後押しする仕組みのおかげで、経済的負担を軽減しつつ、関心のある分野の勉強に専念することができました。また、図書館には一般の図書館では入手が難しい専門書が多数所蔵されており、一部の学会論文も無料で閲覧できたため、研究活動において大いに活用しました。新刊の技術書も迅速に収録されるため、学修や研究を進めるうえで大きな助けとなりました。

学科横断による視野の拡大

所属学科での学修に加え、同一キャンパス内の他学科に所属する学生や教員の方々と交流する機会を得たことで、興味や知識の幅を大きく広げることができました。

有志学生による自主ゼミの立ち上げや、他学科主催のコンテストへの参加など、学科の枠を超えた活動にも積極的に取り組みました。明確な目標が定まらない時期もありましたが、多様な分野に触れることは、新たな発見や関心の芽生えにつながるものだと強く実感しました。

主体的に選択し、行動する力

大学生活では、自ら判断し、課題を解決する場面が増えました。特に、取り組むか否かを自分で選択できる自由度の高い環境においては、何に注力するかを主体的に決定する姿勢が求められます。

すべてに対応することが理想ではありますが、状況に応じて取捨選択を行う判断力の重要性を認識するようになりました。また、「すべてを完遂しなければならない」という考えに過度にとらわれることは、かえって負担を増大させる可能性があります。

後悔のない選択を行うためには、十分な情報収集と冷静な検討を踏まえた行動が不可欠であることを、これまでの経験を通じて強く学びました。



卒業生特集

私を広げてくれた学生生活

大学院生



工学研究科
化学・環境・生命工学専攻

峯 麻友

就職内定先
三菱電機株式会社

自分らしい選択をするために

就職活動では、製薬会社や化学メーカーなど幅広い業界に挑戦しましたが、思うように進まない時期もありました。そのたびに、自分の経験にどんな意味があるのかを考え、言葉にすることを大切にしました。就職活動は自分自身を深く知る機会だと感じています。自分の過去の選択や行動を振り返り、「なぜ」を問い続けることが、納得のいく進路につながると思います。



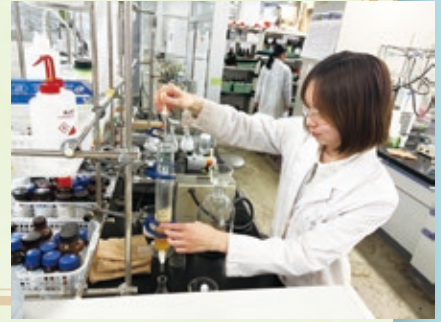
全力で駆け抜けた時間

大学生活を振り返ると、多くの挑戦と成長に恵まれた時間だったと感じます。研究では国際学会でポスター発表を行い、賞をいただくという貴重な経験ができました。また、フォークソング部では学園祭での演奏に向けて仲間と練習を重ね、本番で会場が一体となった瞬間は忘れられない思い出です。学業と課外活動の両方に全力で取り組んだことで、自分自身の可能性を広げることができました。



私らしく挑戦し続ける

今後は大学院の研究で身につけた「課題を見つけ、自ら考え抜く力」を生かし、社会に貢献できる製品開発に取り組んでいきたいと考えています。仕事に真摯に向き合うことはもちろん、趣味や休息の時間も大切にすることで私生活を充実させ、広い視野と柔軟な発想力を持った技術者として、新しい価値を生み出していきたいです。



アイスホッケー部が第98回日本学生氷上競技選手権大会で優勝

12月19日～21日、本学アイスホッケー部が尼崎スポーツの森アイスアリーナで開催された「第98回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)アイスホッケー競技大会」のセカンドディビジョンで見事チャンピオンに輝きました。第96回大会以来の3度目の優勝です。

初戦の琉球大学戦は終始危なげないプレーで7-0と完封勝ちを収め、準決勝の東北福祉大学戦では、途中相手に得点を許したもののそれを上回る攻撃力で勝利を確実なものとししました。

北海学園大学との決勝戦は、序盤から激しい攻防が繰り上げられる展開となりました。相手の堅い守りに苦戦しながらも、果敢に攻め続けてゴールを割り先制点を決めると、勢いに乗って更に得点を重ねます。その後も個人技や連携プレーで点を追加し、9-0で勝利を収めました。

試合終了のブザーが鳴った瞬間、氷上の選手たちは歓喜の声を上げ感情を爆発させました。閉会式では優勝トロフィーと表彰状が手渡されるとともに大会MVPが発表され、本学の今井志咲さん(知的財産学部知的財産学科1年)が選ばれました。閉会式終了後は、リンクの中央で円陣を組み大学歌を合唱。監督や顧問を胴上げし喜びあふれる時間となりました。



優勝トロフィーを手に笑顔の選手たち

試合結果 (全3試合)

- VS 琉球大学 7-0
- VS 東北福祉大学 6-2
- VS 北海学園大学 9-0



ゴールを決め喜びを分かち合う選手たち



北海学園大学との試合



第8回工大サミット学生交流イベントに OIT梅田esportsプロジェクトの 学生が参加

11月29日、「地域で輝く先進的理工系人材の育成」をテーマに9つの私立工業系大学(愛知工業大、大阪工業大、神奈川工科大、芝浦工業大、東北工業大、広島工業大、福井工業大、福岡工業大、北海道科学大)が集い、「第8回工大サミット」を福井工業大(福井県福井市)で開催しました。当日は、オンラインでもライブ配信し、官公庁、企業関係者や大学関係者など多くの参加がありました。

学生交流イベントとして、各加盟大学の学生らによるeスポーツ大会が実施され、本学からは「OIT梅田esportsプロジェクト」の部員6人がトーナメント戦に参戦しました。



eスポーツ大会に参加した本学学生



未来への武器を手 — 知財学部 の弁理士チャレンジ

「弁理士」は、技術やアイデアを社会につなぐ重要な役割を担っています。知的財産学部では、この難関資格に挑戦する学生を厚く支援しています。

本学部の大きな特長は、重層的な学習環境にあります。

土曜日に「弁理士受験会」や「知財塾」、火曜日に論文対策ゼミ、木曜日に上級生による予習会が行われています。同じ法律分野をさまざまな角度から繰り返し学ぶことで、理解を深め、着実に実力を伸ばしていきます。

2025年度には、長谷川潤さん(知的財産学部知的財産学科3年)が在学中に最終合格を達成しました。受験料の補助や奨励金などの支援制度も整っており、これまでも本学部からは複数の在学中合格者が誕生しています。

このように本学部では、在学中から専門資格に挑戦できる体制を構築しています。弁理士をはじめとする専門人材育成は、本学部教育の大きな特色の一つです。



課外活動団体を対象とした 薬物講演会を実施

12月18日、大宮キャンパスで薬物乱用等の啓発講演を行いました。本イベントは、毎年12月に実施している「課外活動団体冬総会」に大阪府警察本部生活安全部少年課少年育成室の方を招き、違法薬物の危険性などについて講演いただいたものです。梅田・枚方キャンパスの学生はオンラインで参加しました。

講演者の北川龍^{りょう}氏は本学の卒業生ということもあり、後輩となる在學生に違法薬物の危険性や勧められた際の断り方などを熱くレクチャーしました。質疑応答では「海外では合法的なのに日本では違法となるのはなぜですか」といった質問が複数寄せられました。

なお今回は、4月1日から新たに交通反則通告制度がスタートすることに伴い、旭警察署の方から自転車の乗車ルールについての講演もいただきました。



情報科学部 クリスマスフェスタを開催しました！

枚方キャンパスの情報科学部では、課外活動団体による「クリスマスフェスタ」を12月15日・17～19日の4日間、1号館エントランスホールで開催しました。

15日はジャグリングクラブTOSSが巧みな技を披露し、会場を一気に盛り上げました。17日には情報科学部軽音部がエネルギッシュな演奏で観客を魅了し、18日にはストリートダンス部が迫力あるパフォーマンスを見せ、会場の熱気は最高潮に達しました。最終日の19日にはウィンドアンサンブルが美しいハーモニーを奏で、温かな雰囲気イベントを締めくくりました。

2025年度も多くの学生の協力により、素晴らしいクリスマスフェスタとなりました！



世界に挑んだ学生たちの軌跡 —ソーラーカープロジェクト BWSC記念講演会を開催

12月13日、世界最高峰のソーラーカーレース「BWSC」初参戦・完走を記念し、完走記念講演会(第28回テクノフォーラム併催)を開催しました。

学長挨拶では、本学の実践的な学びと学生プロジェクトの意義が語られ、続いて大会アンバサダーから学生の挑戦を称えるメッセージが寄せられました。

第1部ではブリチストン山本壘氏が大会の意義と技術的挑戦を紹介、本学学生リーダーが開発から本戦までの軌跡を報告。第2部では登壇者と学生によるトークセッションを実施し、挑戦の価値と次回大会への展望が語られました。

本学ソーラーカープロジェクトは2027年大会に向け、新たな挑戦を始めています。



ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進に向けて

大阪工業大学は、2025年4月にダイバーシティ推進委員会を発足させ、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの実現に向けて、すべての学生および教職員の多様性が尊重され、その個性と能力を最大限に発揮できるよう、教育・研究環境の整備と意識啓発を通じた人材育成に取り組んでいます。

<2025年度の主な取組実績例>

7月	同志社大学 ダイバーシティ研究センター長 兼 文化情報学部長 阪田 真己子 教授を招き、教職員向け「ダイバーシティに関する講演会：ダイバーシティからDEIへー本当に大切なことは何かー」を実施
7月～8月	本学 工学部 総合人間学系教室 大谷 真弓 教授(学生相談室カウンセラー)により、教職員向け「教職員のための学生対応勉強会：合理的配慮について ～合理的配慮のコモディティ化～」を実施
3月	バリアフリーマップの作成

大学院の給付制奨学金が充実しています!

本学では学生が積極的に勉学に励み、充実した学生生活を送ることができるよう、特に学内進学者向けに、独自の給付制奨学金を準備しています。これら奨学金は勉学に意欲があり、それにふさわしい能力を持った学生の経済的困難を支援するものです。特に「大学院入学前予約採用型給付奨学金」は原則として、「学内進学者入学選考」および知的財産学部は「早期進学」の入学者も援助する制度で、大学院生を強力にサポートしています。

[大学院の主な奨学金] 学内進学者に限定。いずれも給付制奨学金。

奨学金の種類	大学院 入学前予約採用型給付奨学金		大学院 グローバル人材奨励給付奨学金		大学院 特待奨学金	
	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程
給付額(年額)	【学科内成績最上位者】 (1年次)57万5千円 (2年次)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次)37万5千円 (2年次)30万円	2027年度まで 【学科内成績最上位者】 (1年次)60万円 (2年次)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次)40万円 (2年次)30万円	2028年度以降 ※4 【学科内成績最上位者】 (1年次)63万円 (2年次)53万円 【学科内成績最上位以外の者】 早期進学者(1年次)38万円、(2年次)28万円 学内進学者入試合格者(N)(1年次)36万円、(2年次)26万円 学内進学者入試合格者(A)(1年次)40万円、(2年次)30万円 学内進学者入試合格者(S)(1年次)45万円、(2年次)35万円	20万円	年間授業料の全額相当額(102万円)	年間授業料の全額相当額(123万円)
採用資格	本大学院所定の入試(※1)により合格した学生で、学業・人物ともに優秀と認められる者		本学の学内進学者および学内進学した在学生で、TOEICスコアが所定の点数を満たす者(※3)ただし英語を母国語としていない者(過年度実績:550点)		学部3年次までの成績が極めて優秀で、経済的理由のため就学が困難と認められる者で、TOEICスコアが所定の点数を満たす者(※3)(過年度実績:450点)	
採用定員	採用資格を有する者		採用資格を有する者		原則、各学科1人	
給付期間	2年間(継続審査無し)		1年間(在学時1回限り)		2年間(1年次末に継続審査あり)	
出願について	入試出願時に合わせて出願(※2)		4月にUNIPAにて案内		被推薦者は本学所定の入試(※1)を受験すること	

- ※1 博士前期課程は学内進学者入学選考、専門職学位課程は学内進学者入学選考または、早期進学による所定の入試を示す。
- ※2 専門職学位課程の早期進学者については、12月にUNIPAにて案内(予定)。
- ※3 公式認定証/スコアレポートの提出が必要です(得点に変更される場合があります)。オンライン実施分は対象外です。
- ※4 2028年度以降の給付額(年額)を記載。但し、知的財産学部2025年度以降入学生大学院専門職学位課程への進学にかかる奨学金(早期進学者は2028年度、学内進学者入試合格者は2029年度)から適用。同学部2024年度以前入学生は従前の例による。学内進学者入試合格者の奨学金区分は次のとおり。学内進学者入試合格者(N):早期進学候補者でない者。学内進学者入試合格者(A):早期進学候補者で4年次まで進学した者。学内進学者入試合格者(S):早期進学候補者で学力が特に優秀で4年次まで進学した者。
- ◆上記のほか、テラサキ奨学金(工学研究科電気電子・機械工学専攻電気電子工学コースのみ対象)があります。
- ◆博士後期課程の奨学金についてはHPをご参照ください。
- ◆奨学金制度や金額は変更することがあります。

学生相談室 だより

卒業生・修了生の皆さんへ

学生相談室カウンセラー 高松 沙弥

ご卒業・ご修了おめでとうございます。私は心理学科を卒業しており、この大学で働く前は、理系大学の学びとは無縁でした。大学の講義や研究では課されるハードルも高く、卒業・修了に至るまで非常に大変さを感じた人も多いと思います。本当にお疲れさまでした。4月からの新生活への不安も高まる時期だとは思いますが、今はまず、達成できたことを喜び、頑張ってきた心身を丁寧にねぎらってあげてください。

さて、4月からの新生活について、私からのお願いです。慣れない生活で疲れやすかったり、反対に疲れを感じにくかったり、通常とは違うモードになるかもしれません。5月病にもなるかもしれませんが、上がったら下がる、下がったらまた上がるのは、自然なことなんです。仕事も遊びも、何事もほどほどに過ごすことをお勧めします。心身が自然と慣れてくるのを待ってあげてくださいね。それでも不調が改善しなかったり、誰かに話を聞いてほしかったりする場合は、カウンセリングをぜひご利用ください。AIではできない仕事をすべく、私たちは取り組んでいます。世の中には、星の数ほどの心理療法が存在しているので、自分に合う療法や、カウンセラーにきっと出会えるはずです。カウンセリングを身近に感じていただけるとありがたいです。



工大流就職支援 74

～就職NEWS～

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。皆さんは、企業・公務員への就職、あるいはさらなる研究を志した大学院進学へと進みます。この1年間、生成AIの普及など社会構造が激変する時代の荒波のなかで、自らの将来を真剣に考え、悩み、行動し続けた皆さんの努力を、心から称えたいと思います。

進路選択の過程で、皆さんは「自分に何ができるか」だけでなく「社会でどうありたいか」という問いに深く向き合ったはず。2026年の今、技術の進化は目覚ましく、私たちが手にした専門知識さえも常にアップデート(リスキリング)が求められる時代となりました。しかし、この大学生生活で培った「未知の課題に挑む力」と「自分を信じる強さ」があれば、どんな変化も自らのキャリアを発展させる糧にできるはずです。

どうか自信を持って、新しい舞台へ羽ばたいてください。皆さんが生み出す技術やアイデアが、これからの未来を創る原動力となります。

今後は大阪工業大学の卒業生キャリアサポーターとして、後輩たちの挑戦を支える頼もしい先輩となってくださることを期待しています。皆さんの歩む道が、豊かで実り多いものとなるよう、心より応援しています。